

# 東近江市妹水害履歴マップその①(全3枚)

(H26.8.8 妹集落センターで行った聞き取り調査に基づき作成、参加者6名)



## 地域特性

### 妹集落の特性

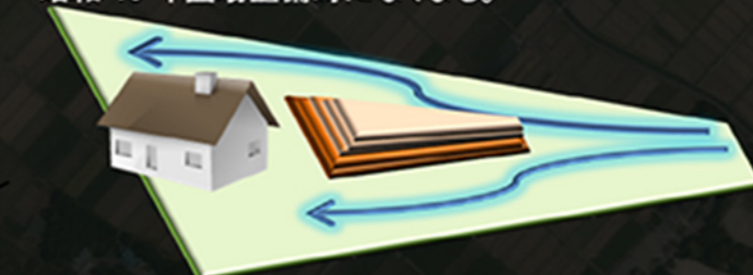
- ・ 集落内には素掘りの排水路があった。
- ・ 急な斜面に集落があるため、水のはげが早い。
- ・ 左岸堤防の高さは右岸堤防の高さより約1m低い。
- ・ 人家のある地面よりも河床の方が高かったため、河川が溢れると民家の方に水が流れてきた。

### 光明寺

周辺道路より約1.5m高い所に位置するS13台風時避難所として利用された。

### ウエノカイドウ

- ・ 水流が人家に直撃しないように造られた小さな丘のようなもの。
- ・ 高さが1~2mの畑(少し高い所に土を盛り上げて造られたと推測される)
- ・ 昭和45年圃場整備時になくなる。



右図よりウエノカイドウは、周辺田畑より標高が1.3m程高い事がわかった。(156.13m-154.75m=1.38m)



愛東南部地区県営圃場整備計画平面図 15

### 春日橋周辺

(下) 平成24年



(上) 平成26年

平成25年台風18号により、河原の草木が流され、きれいになった。

### 堤防



地図中①  
二重堤になっており、水が溜まりやすい。



地図中②  
愛知川の溢れた水を静かに流す工夫として霞堤が設置されている。

### 水害防備林

- ・ 河川沿いに竹林が存在。
- ・ 水害時の竹かご編みに使用。
- ・ 集落ごとに良質な竹林を保持している。
- ・ 昭和28年台風13号時、河畔林の働きによって被害が軽減されたという印象がある。



水防林分布



0 500 m